

たがやす通信

山形県第二区 自民党 衆議院議員 鈴木のりかず 活動報告

2021
Vol.9

討議資料

鈴木のりかず
活動報告

TAGAYASU
TSUSHIN

NORIKAZU SUZUKI ACTIVITY REPORT



—山形から地方創生—

日本を耕す!

Vol. 9

STEP 1
・地元の声や課題を伺う

国がすべきことは何かを考える



STEP 2

・全国レベルでの課題はどうか

他の地域でも同様の課題があるか調査



STEP 3

・自民党の中で政策づくり

党の部会での発言や、プロジェクトチームを立ち上げ



STEP 4

・予算措置または立法(国会)

委員会での質問や提言

STEP 5

・制度や政策ができ、予算割当



STEP 6

・地元で役に立つように展開、実行

地方の市町長や議員の皆さんと相談

地方の声が政策になるまで
〜与党・自民党でのわたしの仕事〜次ページで
実例を紹介します！

WORK FLOW

地元の皆様へ

平成二十四年の初当選以来、地元の皆様のご支援のおかげで約八年間山形二区のご代表として活動させて頂きました。

この間、矢代の遠藤武彦先生の時代にスタートした福島、米沢間の新栗木トンネルの開通など、インフラ整備が進む一方、温暖化に伴う豪雨災害への対応、コロナ対策など、より安んじて暮らすことのできる地元山形と日本を作る努力はならないことと実感しています。

一人一人の価値観が多様化し、グローバル化が進む難しい時代であるからこそ、政治家として信頼して頂けるよう現場を第一に、地元山形と日本の将来の為に努力してまいります。引き続き皆様からのご指導とよろしくお願い致します。

衆議院議員 鈴木憲和



NORIKAZUSUZUKI

3. 豪雨災害からの復旧

STEP 01



令和2年7月豪雨の影響で、最上川氾濫、浸水被害、道路崩落など、多数の被害が発生。現場に伺って、被災所の確認と今後の対応について、自治体と相談。

STEP 02



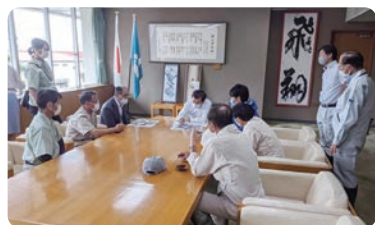
国交省にTEC-FORCE派遣を至急要請し、早期復旧に向けて対応。

STEP 03



官邸へ被害状況の説明と、激甚災害指定や支援パッケージ対応などを要望。

STEP 04



「流域治水プロジェクト」を立上げ、氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策を強化。

事業費 約656億円

期 間 R2年度～R11年度

2. GFP農産物輸出支援

STEP 01



平成30年、自民党農産物輸出促進対策委員会の事務局長として、小泉委員長とともに、生産者コミュニティ支援による農林水産物の輸出促進に関する提言を取りまとめ、「グローバル・ファーマーズ・プロジェクト(GFP)」を提案。

STEP 02



GFP登録により、政府の支援が見える化。買い手が欲しいものを生産する「グローバル産地」形成を推進。

STEP 03



「たがやす通信vol.7」でもGFPについて紹介しています!

同年8月、長野県伊那市にて、GFP立ち上げ・署名式に参加。
GFPに登録して、輸出への第一歩を!

STEP 04



グローバル産地づくり推進事業で「河北町のイタリア野菜」「朝日町のりんご」が採択産地に!

GFP現在の登録会員数は4,764名 ※4/28調べ



GFP詳細はこちら

1. 白鷹町 人材交流で自治体の活性化

STEP 01

豪雨災害を経験し、山を持続可能なものにしなければという思いから、白鷹町と林野庁の人事交流を推進。



STEP 02

地元産材の活用を促進するため、町内企業で連携して木材乾燥施設を整備し、地元産材の供給を担う。



STEP 03

林野庁の補助金を活用し、主に町産材のスギを使った木材の庁舎・図書館を建設。



「森林を活かす都市の木材化推進議員連盟」の皆さんをご案内!

STEP 04

木材利用優良コンクールにて「内閣総理大臣賞」を受賞。



市町議員のみなさんとの勉強会も開催!



03

災害に強い地域へ

●豪雨災害からの復旧

- ・H25年7月豪雨
- ・H26年7月豪雨
- ・R2年7月豪雨
(激甚災害へ指定)



- ・雪害による農作物被害への対策、支援
- ・最上川の築堤、河床切り上げ



災害に強い地域へ 西川町

- ・月山登山道の整備

NISHIKAWA

地域特産品の販路拡大 朝日町

- ・「道の駅 りんごの森」の整備

ASAHI

農林水産業で地域活力を 尾花沢市・大石田

- ・すいか選果施設を整備



OBANAZAWA・OISHIDA

01

県民の命を守る



- ・山形県に対して「新型コロナ戦略会議」を提案、開催。
- ・県境部での検温など、全国初のコロナ対策を決定。

1 持続可能な地域をつくる

8年間の活動の中で、地元のために取り組んできたことの一部を紹介します！

04

人材交流で自治体の活性化

寒河江市

地方創生人材派遣制度を活用し、経済産業省と人材交流
→ふるさと納税UP

他にも…

- ・林野庁 → 白鷹町
- ・文科省 → 長井市
- ・農水省 → 米沢市、村山市など

P4を参照

インフラ整備の促進

- ・国道287号の整備
- ・国道113号の整備

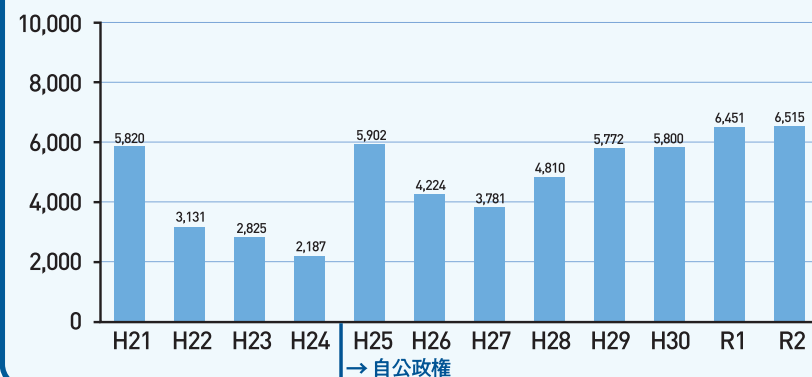
地域特産品の販路拡大 長井市

- ・「道の駅 川のみなと長井」の整備

NAGAI

農林水産業で地域に活力を

農業基盤整備予算がアップ



インフラ整備の促進 高島町

- ・道の駅たかはたを拠点とした自動運転サービス実証実験
- ・東北中央自動車道にて高島スマートインターチェンジ(仮称)新規事業化

TAKAHATA

農林水産業で地域活力を 南陽

- ・山村の活性化対策を支援



NANYO

地域特産品の販路拡大 川西町

- ・「森のマルシェ」の整備

KAWANISHI

地域特産品の販路拡大 米沢市

- ・「道の駅よねざわ」の整備

YONEZAWA

02

インフラ整備の促進



●東北中央自動車道 開通

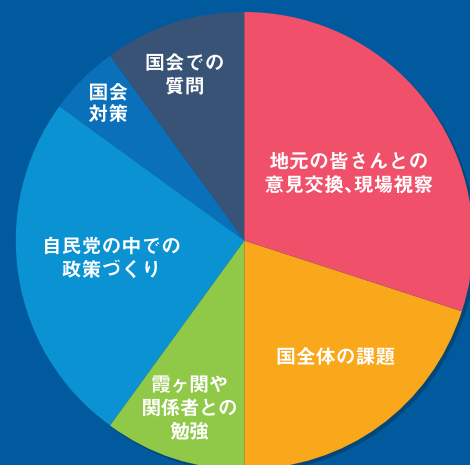
- ・H29年11月:福島大笹生IC~米沢北IC間
- ・H30年4月:大石田村山IC~尾花沢IC間
- ・H31年3月:東根IC~東根北IC間
- ・H31年4月:南陽高島IC~山形上山IC間

- ・R3年度中:村山北IC~大石田村山IC間
- ・R4年度中:東根北IC~村山北IC間

開通予定

1WEEK

国会中の一週間を紹介！

衆議院議員としての
仕事イメージ

日本最大の課題は「少子化」です。私自身も子供二人を育てる中で感じることは少子化を克服する為には、男性側がより育児に関わり、女性側の負担を軽減することが不可欠なことです。

この為、男性の育児休業取得率が10%前後の状況を大幅に改善すべく、自民党のPT事務局長として、産婦人科の医師の方、労使双方のご意見を伺い、地元においても中小の経営

者の方々とも意見交換させて頂いたうえで、国の制度改正の内容をまとめました。具体的には、男性が妻の出産直後に2週間取得できる特別な育児休業制度「出生時育休」の導入などです。

昨年、政府に提言し本年国会で育児・介護休業法の改正案が審議され、来年以降新制度となります。これからも、子育て世代として、少子化の克服にチャレンジしていきます。



スキャンダルが生じるたびに、本来「国民」にとって大切な政策についての議論がおろそかにされています。この八年間の間に国会を改革したいという思いが強くなっています。

そこで次のような提言を2018年に自民党若手有志でまとめました。

「よりオープン」な国会の為、行政の公平性に疑問が生じたときは、「特別調査会」を設置

「より政策本位」な国会の為、①各委員会ではスキャンダルはやらない②党首討論や大臣討論の開催③計画的に開催されることで政策審議の充実

これからの国民の為の国会を目指していきます。

2 持続可能な国をつくる

WORK

育休について

WORK

国会改革について

事務局長として、日本の課題解決に向けて取り組みました。



3 持続可能な世界をつくる

外務大臣政務官となり、日本政府代表として日の丸を背負って世界をまわりました。

▼詳細はコチラ
(外務省HP)





妊婦体験の様子

上原…鈴木さんは、クイックに動いてくれる。我々の課題を、しっかりと自分事のように認識しながら一緒に動いてくれるところが、いいですね。

鈴木…なんか、照れますね(笑)

上原…他人事だからって、なかなか動いてくれない方たちもいるんですけど、他人事ではないんです。あなたもいつか車いすユーザーになるかもしれない。全員に関わり

鈴木代議士に対しての評価は？

上原…鈴木さんは、クイックに動いてくれる。我々の課題を、しっかりと自分事のように認識しながら一緒に動いてくれるところが、いいですね。

鈴木…山形でも連携してやりたいですね！

鈴木…今日の話を聞いていると、想像力ですね。

上原…そうですね。コロナによって、今まで出来ていた事が出来

コロナ後の日本社会に期待することは？

鈴木…この前、妊婦体験をやったんです。やらないとわからないですね。リアルに自分でやってみると、もちろん100点の理解はできないけど、体験してみないとわからないことがたくさんありました。



車いすテニス

鈴木…政務官の時にメルボルンに行って、車いすテニスを体験

上原…あなたも(車いすユーザーに)なるかもしれない」というマインスの話をしないとけないので、教育の場面とかでなかなか言わない。親が高齢になってオムツ替えが必要になった時に、ベビーベッドに乗せられますか？ユニバーサルベッドではないと乗せられないよね、ということが想像できない。こういうことを教育の現場で伝えていかないとけないんです。

鈴木…この前、妊婦体験をやったんです。やらないとわからないですね。リアルに自分でやってみると、もちろん100点の理解はできないけど、体験してみないとわからないことがたくさんありました。

鈴木…体験とか何か一緒にやっていきましょ。企画しましょ！

上原…いいですね！ぜひ！



鈴木代議士のバリアフリーに関する国会質問はこちらから



上原 大祐 | Daisuke Uehara

パラリンピック3大会出場(2006年トリノ、2010年バンクーバー、2018年平昌)し、バンクーバー大会では銀メダルを獲得。
引退後はNPO法人D-SHIPS32を設立し、自治体と連携した共生社会推進などの活動をしている。
その他、東京都パラ応援大使、国土交通省アドバイザー、特別支援学校の学校連絡運営協議委員(3校)を務める。

2021.APRIL.22.THU@議員会館

鈴木憲和 × 上原大祐

NORIKAZU SUZUKI DAIJUKE UEHARA

最近の活動について

鈴木…お久しぶりです！ボッチャのイベントでお会いしてから、国交省に要望に行ったりしましたね。バリアフリーについて、最近はどうな活動をされているんですか？

上原…最近、皆さんの意識や想像力を創っていく活動をやっていきます。教育という観点と、パラスポーツを通して理解を深めていくという観点で、共生社会は共有社会から、という想いでやっています。教育面だと、昨年度は、全国の自治体のアドバイザーみたいなことをしていました。行政の皆さんは「市民の皆さんの理解を深めるためには、どうしたらいいですか？」という質問をされます。そもそも、行政の皆さんが理解していないから物事が進まないことがあるので、「まずは皆さんが学ばないと市民の皆さんには伝わりませんよ」と教えていました。パ



ブルーペイント

ラスポーツを使ったところだと、2019年10月から「パラ大学」という大学生のパラスポーツリーグを始めました。大学生がパラスポーツを楽しむことで発信してもらい、ゆくゆくは全国大会にしていきたいと思っています。

鈴木…それは、車いすユーザーではない人が参加しているんですか？

上原…そうですね。車いす初体験の方が多くいますが、障害を持っている人が参加してもいいし、障害

SPECIAL TALK

パラアイスホッケー 日本代表 上原大祐氏と語る

WORK

最近の活動

このほかに「米の需要拡大・創出検討プロジェクトチーム」を立ち上げたのは次号で紹介！

ACTIVITY 01

「自民党外交部会・人権外交プロジェクトチーム」を立ち上げ



自民党外交部会のもとに、私が座長となり「わが国の人権外交のあり方検討プロジェクトチーム」を立ち上げました。

ミャンマーでのクーデター後の状況、香港やウイグルにおける厳しい状況を踏まえ、外交分野で「人権」について日本がどのような立ち位置であるべきか、これまでの日本外交の取組の歴史も踏まえつつ、国益に資する人権外交の在り方を議論し、政府に対して提言します。

ACTIVITY 02

「食品等の出荷制限の合理的なあり方検討プロジェクトチーム」で提言



東日本大震災からの復興に向けて、自民党東日本大震災復興加速化本部のもとに「食品等の出荷制限の合理的なあり方検討プロジェクトチーム」を立ち上げ、事務局長として復興大臣へ提言しました。

消費者保護を大前提としつつ、被災地の復興に資するために、食の分野での課題解決に向けて考えられることを、どこまでも科学的に、検証・検討した上で、リスクコミュニケーションを強化して、被災地の復興を後押ししていきます。

ACTIVITY 03

建築物での木材利用を促進する議員立法



森林を活かす都市の木材活用推進議連のなかに「公共建築物での木材利用促進法の改正を検討するワーキングチーム」を立ち上げ、事務局長として、公共建築物での木材利用促進法を改正して、民間の建築物にも木材利用を進める趣旨の議員立法を行います。

現在は、技術革新によって木造での高層建築も可能になっていいますので、日本の森林にある豊富な国産材を有効活用し、公共建築だけでなく民間建築でも木造ビルを増やし、脱炭素社会と、持続可能な森林経営に貢献していきます。

ACTIVITY 04

予算委員会で質問



令和3年度当初予算成立に向けて、衆議院予算委員会に質疑に立ちました。

地元の皆さんからいただいたご意見をもとに、日本の地方の現状として問題提起いたしました。

- ① コロナの感染が落ち着いている地域に限っての、GoToトラベルとGoToイートの再開のあり方について
- ② 水害対応を考えた時の国土交通省の整備局の体制強化について
- ③ 令和三年産の主食米の需給について
- ④ 財務省の農政へのスタンスについて

赤羽国土交通大臣、野上農林水産大臣、麻生財務大臣とも、丁寧にご答えていただいたと思います。

衆議院のHPにて動画視聴が可能ですので、ご覧ください。



Profile 鈴木のかず プロフィール

鈴木 憲和
Norikazu Suzuki

南陽市金山在住
生年月日：昭和57年1月30日
家族：妻・息子（2人）市内幼稚園に通っています。
趣味：テニス・スキー
座右の銘：現場が第一



国会での 主な経歴

国会 (衆議院)

常任委員会

- ・外務委員会 理事
- ・農林水産委員会 理事
- ・国土交通委員会 理事

特別委員会

- ・北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会
- ・災害対策特別委員会
- ・地方創生に関する特別委員会

8年間の主な出来事

2012年12月	第46回総選挙で初当選
2013年 7月	南陽市吉野川を中心とする豪雨災害の対応
2014年 7月	2年連続豪雨災害への対応 ➡ 総額173.8億円(道路含む)の復旧工事
2014年12月	第47回総選挙で2期目当選
2015年10月	小泉農林部会長のもと、自民党農林部会長代理に就任
2016年	国道287号線の国による補助事業化で整備促進
2016年11月	TPP採決にあたり棄権 ➡ 役職はすべて辞任
2017年 5月	自民党山形県連会長 就任
2017年10月	第48回総選挙で3期目当選
2017年11月	東北中央自動車道 福島ー米沢間の開通
2018年10月	外務大臣政務官 就任
2019年	国道113号線「小国道路」事業化
2019年10月	自民党外交部会長代理 就任
2020年 7月	最上川豪雨災害への対応 ➡ 流域治水プロジェクト立ち上げ



初登院



初当選



2013年豪雨災害視察

2018年
外務大臣政務官

首相官邸での集合写真

今後も現場を第一に、地元の発展と日本の将来の為、みなさんと共に進んでいきます。

2021年5月 発行 (Vol.9)

自由民主党山形県第二選挙区支部 すずきのかず事務所

議員会館 | 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館416号室
TEL.03-3508-7318 FAX.03-3508-3318

米沢事務所 | 〒992-0012 山形県米沢市金池2-1-11 TEL.0238-26-4260 FAX.0238-26-4293

東根連絡所 | 〒999-3720 東根市さくらんぼ駅前2-10-21 TEL.0237-53-1680 FAX.0237-53-1690

地元や国会での活動はSNSで発信中! ぜひ「いいね」でご支援ください。

Instagram



Facebook



公式WEBサイト

